

ジュニア国際スキー技術検定規程

1. 目 的

この規程は、公益社団法人日本プロスキー教師協会（以下「協会」という）定款第1章第4条に基づき、これを定める。ジュニア国際スキー技術検定は国内のジュニアスキーヤーを対象とした国際スキー教師連盟（以下「ISIA」という）が認めた技術検定である。

2. 検定要綱

ゴールドメダル
シルバーメダル
ブロンズメダル
レッドメダル
イエローメダル
グリーンメダル の6種類とする。

(1) 実 施

公認スキー学校が、会長より委嘱され、これを行う。

(2) 検 定 員

会長から委嘱された国際スキー技術検定検定員の資格を持つアルペンスキー・ステージⅡ、ⅢまたはⅣの有資格者。ただし、ステージⅢ資格者はシルバーメダルまで、ステージⅡはブロンズメダルまでの検定が出来ることとする。

(3) 検定申込

イ. 受検者は、氏名、年齢、性別、住所、既得メダル及び希望メダル種類等を所定の申込用紙に記入の上、開催学校長宛に申し込む。

ロ. 受検者の資格は中学生以下とする。

(4) 検 定 料

一律1,500円（消費税込）とし、検定申込時に納入する。

(5) 合格者の手続

下記の認定料を納付しなければ有効とならない。

ゴールドメダル	2,000円（消費税込）
シルバーメダル	〃
ブロンズメダル	〃
レッドメダル	1,500円（消費税込）
イエローメダル	〃
グリーンメダル	〃

(6) 結果の報告

検定を実施した学校は、その結果を所定の報告書に記入の上、5月末日までに担当部長に報告する。また、担当部長は報告を集計し、所定の報告書に記入の上、6月末日までに会長に報告する。

3. 検 定 基 準

(1) 検定種類と実施要綱

種 類		ゴールド [△]	シルバー [△]	ブロンズ [△]	レッド [△]	イエロー	グリーン
種 目	滑り出して 停止ができる						○
	プルークボーゲン					○	
	シュテムターン				○		
	パラレルターン・ロング	○	○	○			
	基礎パラレルターン・ショート		○				
	パラレルターン・ショート	○					
	総 合 滑 降	○					
合 格 点 (100 点満点として)		60 点以上					
検 定 員	資 格	ステージⅣ	ステージⅢ・Ⅳ	ステージⅡ・Ⅲ・Ⅳ			
	人 数	1名以上					
		各 1 回		1 回			
斜面の 条件	幅	30 m以上		30 m以上		30 m以上	
	長さ	150 m		100 m		50 m以下	
	斜度	15～25度の 急斜面		10～15度の 中斜面		4～10度の 緩斜面	
	雪の状況	整地		整地		整地	

イ. 受検者の使用するスキーの長さは限定しない。

ロ. 各種目とも定められた斜面、距離を連続回転して完走することを原則とする。

(ただし、グリーンメダルは該当しない)

ハ. 滑りやすい状況とするために、マーカーやポールを使用してもよい。

(2) 採点方法

イ. ゴールドメダルの検定は、3種目をそれぞれ100点満点とし、60点以上を合格点とし、滑降は1回とする。

ロ. シルバーメダルの検定は、2種目をそれぞれ100点満点とし、ゴールドメダルの採点方法に準ずる。

ハ. ブロンズメダル、レッドメダル、イエローメダル、グリーンメダルの検定は、60点以上を合格点とする。

(3) 実 施

イ. 検定は、原則として申込み種類に対してのみ行う。

ロ. 各メダル検定実施に際しては、1名以上の正会員の前走者を用意し、各種目ごとに前走を行うものとする。

4. 実施要綱

(1) ゴールドメダル検定

イ. 斜面の条件

幅30m以上、長さ150m、斜度15～25度の急斜面

雪の状況 整地

ロ. 検定種目

パラレルターン・ロング、パラレルターン・ショート、総合滑降を種目毎に1回滑ることを原則とする。

(2) シルバーメダル検定

イ. 斜面の条件

幅30m以上、長さ150m、斜度15～25度の急斜面

雪の状況 整地

ロ. 検定種目

パラレルターン・ロング、基礎パラレルターン・ショートを種目毎に1回ずつ滑ることを原則とする。

(3) ブロンズメダル検定

イ. 斜面の条件

幅30m以上、長さ100m、斜度10～15度の中斜面

雪の状況 整地

ロ. 検定種目

パラレルターン・ロングで1回滑る。

(4) レッドメダル検定

イ. 斜面の条件

幅30m以上、長さ100m、斜度10～15度の中斜面

雪の状況 整地

ロ. 検定種目

シュテムターンで1回滑る。

(5) イエローメダル検定

イ. 斜面の条件

幅30m以上、長さ50m以下、斜度4～10度の緩斜面

雪の状況 整地

ロ. 検定種目

ブルークボーゲンで1回滑る。

(6) グリーンメダル検定

イ. 斜面の条件

幅30m以上、長さ50m以下、斜度4～10度の緩斜面

雪の状況 整地

ロ. 検定種目

1回滑る。

5. 採点基準

(1) ゴールドメダル検定

○パラレルターン・ロング

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右のターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. スピーディーなターンができています。
- ニ. ターンの切り換え動作の運動は問わない。
- ホ. ストックの使用は問わない。

○パラレルターン・ショート

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右のターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. 小さなリズムカルな連続ターンとする。
- ニ. ストックの使用は問わない。

○総合滑降

- イ. 斜面全体を使用するものとする。
- ロ. リズム変化ができています。
- ハ. パラレルで操作ができています。
- ニ. スピーディーなターンができています。
- ホ. 安定して停止するものとする。
- ヘ. ストックの使用は問わない。

(2) シルバーメダル検定

○パラレルターン・ロング

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右のターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. スピードのコントロールができています。
- ニ. ターンの切り換え動作の運動は問わない。
- ホ. ストックの使用は問わない。

○基礎パラレルターン・ショート

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右のターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. ゆったりとした小さなリズムカルな連続ターンが良い。
- ニ. スピードのコントロールができています。
- ホ. ストックの使用は問わない。

(3) ブロンズメダル検定

○パラレルターン・ロング

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右のターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. スピードのコントロールができています。
- ニ. ターンの切り換え動作の運動は問わない。
- ホ. ストックの使用は問わない。

(4) レッドメダル検定

○シュテムターン（山開きもしくは両開きシュテムターン・開脚で行う）

- イ. プルークが大小することは問わない。
- ロ. 明確な開きだし動作は必要としない。
- ハ. ターン弧が滑降状況にあっている。
- ニ. スピードのコントロールができています。
- ホ. ターンの切り換え動作の運動は問わない。

(5) イエローメダル検定

○プルークボーゲン

- イ. プルーク形を保っている。
- ロ. ごく浅い弧で構わない。
- ハ. 切り換え動作の運動は問わない。
- ニ. 安定して停止ができる。

(6) グリーンメダル検定

○滑り出して停止ができる。

- イ. 直滑降またはプルークの滑降とする。
- ロ. 安定して停止ができる。

附則 この規程は、公益社団法人日本職業スキー教師協会の設立登記のあった日から施行する。

附則 この規程は、一部改訂し平成24年10月17日から施行する。

附則 この規程は、一部改訂し平成28年 3月24日から施行する。

附則 この規程は、一部改訂し平成29年10月 1日から施行する。

附則 この規程は、一部改訂し平成30年12月 1日から施行する。